

令和5年度 第4回宮崎支部評議会の概要報告

開催日時	令和6年3月19日(火) 10:00~12:00
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	蔵本評議員・高橋評議員・谷口評議員・ 藤元評議員・谷田貝議長・横山評議員（五十音順）
議題	1. 令和6年度都道府県単位保険料率について 2. 令和6年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について 3. 令和4年度(2022年度)宮崎支部医療費分析について 4. 令和6年度宮崎支部評議会開催スケジュール(案)について
議事概要(主な意見等)	<p>1 令和6年度都道府県単位保険料率について 資料1-1、資料1-2に基づき事務局より説明</p> <p>【被保険者代表】 生活習慣病予防健診における胃の検査補助は、バリウムのみが対象であるか。胃カメラに対する補助はないか。</p> <p>【事務局】 バリウムのみが対象である。昨今、胃カメラの需要が高まっているのは把握しているが、すべての生活習慣病予防健診実施機関において、胃カメラ検査を導入できる環境が整ってはいないのが現状である。胃カメラ検査の費用補助は行っていないが、昨今の需要も踏まえ、ご意見があった旨、本部に申し伝える。</p> <p>2 令和6年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について 資料2-1、資料2-2に基づき事務局より説明</p> <p>【学識経験者】 マイナ保険証の利用促進を医療機関が勧めていくのはどうだろうか。</p> <p>【事務局】 マイナ保険証の利用率が高い地域は、医療機関等が積極的にマイナ保険証を推進している影響があると思う。政府から医師会や薬剤師会に医療機関でのマイナ保険証の利用促進について訴えかけている状況である。</p> <p>【被保険者代表】 私の住む地域ではマイナ保険証で受付できない医療機関があるが、どういうことか。 また、マイナ保険証の利用率についてはどのような状況か。</p>

【事務局】

現時点においても、マイナンバーカードリーダーの設置をしていない医療機関がある。
令和6年1月時点の全保険者での調査では、宮崎県は全国4番目に高い利用率である。
1番高いところでは、鹿児島県の8.44%であり、4番目の宮崎県は6.65%である。

【被保険者代表】

宮崎県で6%代、全国の高いところで8%代というのは、決して高くない数字である。これは国民の信頼を得られていないのが原因ではないか。システム上の障害を起こさないことや医療機関等でマイナ保険証によるトラブルが発生しないように対処することなど基盤となるところから構築していき、国民の信頼を得ることが優先であると考え

3 令和4年度(2022年度)宮崎支部医療費分析について

資料3に基づき事務局より説明

【学識経験者】

高血圧の基準が変更になると聞いたが、これによる影響はあるか。

【事務局】

高齢化により循環器系の医療費は更に上昇していくことが見込まれている。国がこれをどのようにバランスをとり、ガイドラインを設定していくかによって保険者への影響が出てくるかと思う。特に九州南部では大きく影響が出ると考える。

4 令和6年度宮崎支部評議会開催スケジュール(案)について

資料4に基づき事務局より説明

意見等特になし

《特記事項》

・次回の評議会は、令和6年7月に開催予定